

先週のマーケット動向(8月26日~8月30日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,324.3	1,339.7	1,319.4	1,336.0	▲2.8
JPY/KRW	9.2007	9.2716	9.1762	9.2103	+0.015
KOSPI	2,716.88	2,718.47	2,649.56	2,674.31	▲27.38

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落後下げ幅を縮小する展開。週初のドル/ウォンはジャクソンホール会合でのパウエルFRB議長発言により米ドル安が進行したことを受けて1,324.3ウォンでオープン。その後約5か月ぶりに1,320ウォンを下抜ける場面が見られた。一方で、その後は米大手半導体企業決算への警戒から、外国人投資家による韓国株式の売り越しが続き、下げ幅を縮小する展開に。週半ばは輸出勢によるドル売り需要も限定的で1,340ウォン手前まで戻す場面も見られた。週末にかけては材料難から揉み合い推移し、前週末比▲2.8ウォンの1,336.0ウォンでクロージングした。(韓国時間15:30)

今週の見通し

今週のドル/ウォンは底堅い推移を予想。今週は米ISM指数や雇用統計に注目が集まろう。FRBの政策スタンスは物価の抑制から、雇用の拡大に移りつつあり、特に雇用関連の統計に敏感に市場が反応する展開が想定される。先週末米金利が上昇推移したこと、米経済が底堅さを保っていることを考慮すると、9月FOMC会合での利下げ幅は25bpになる公算が高く、ドル/ウォンはFOMC前に戻りを試す展開が想定される。人民元が茲許堅調推移していることがウォン買いをサポートするも、今週のドル/ウォンは上昇目線の推移を予想する。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1320 ~ 1350	9.02 ~ 9.32	144.5 ~ 147.5

\* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



\* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 2日(月) 欧 8月 製造業PMI 確報値
- 3日(火) 米 8月 製造業PMI 確報値
- 韓 8月 CPI
- 米 8月 ISM製造業景況指数
- 4日(水) 米 7月 耐久財受注 確報値
- 欧 8月 サービス業PMI 確報値
- 米 7月 製造業受注
- 中 8月 総合PMI
- 中 8月 サービス業PMI
- 5日(木) 米 8月 失業保険新規申請者数
- 米 8月 サービス業PMI 確報値
- 米 8月 ISM非製造業景況指数
- 米 8月 ADP雇用統計
- 韓 2Q GDP 速報値
- 6日(金) 欧 2Q GDP 確報値
- 米 8月 非農業部門雇用者数
- 米 8月 失業率
- 韓 7月 国際収支

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。